

史跡紹介

①瀧之澤不動



矢尻講中の氏神として宝永二年(1705)二月、寺山文右衛門が祀(まつ)ったと伝えられる。火焰後背型の素朴な石像であるが、御気性の激しい立ち不動尊である。ライフタウン造成以前は昼なお暗き森林に矢向台地から絞れる地下水が一筋の滝となって落ちていた。これが滝の沢地名の起こりである。祭日は二月二十八日。前日に幟(のぼり)を立て氏子十八軒が輪番でお日待ちをする。

②養蚕神社・窪島義翁徳碑



明治・大正のころは養蚕が盛んに行われたが、戦時中食料増産のために自然になくなったと言われる。養蚕組合長、郡畜産組合長として産業振興に尽くされ村長を始め数々の公職に就かれた功績を讃えた碑である。碑文には先祖の孫兵衛は北条氏の家臣で後に徳川氏の軍監として関が原の役に出陣、その後帰農とある。

③芭蕉天神



祭神は愛知県岡崎市にある芭蕉天神で、学問の神様といわれている。岡崎市史によれば、岡崎の天満宮は元は伊豆国芭蕉山の天神を勧請したものとされている。昔は窪島家が屋敷内に祀(まつ)ったといわれている。三月二十五日が祭日で、氏子の新入学生に対し岡崎から取り寄せた御札を配り祝っている。

④宝泉寺



玉雄山と号し、石川県能登の曹洞宗大本山総持寺(現 鶴見の総持寺)直系の曹洞宗別格の中本山である。本尊は釈迦牟尼如来で、開山は如幻宗悟大和尚。開基は小田原北条氏家臣の仙波土佐守。創立は永正十六年(1519)頃と言われる。また、天正十九年(1591)に二十一石の朱印地を賜った。寺内には市指定文化財の雲版などがある。

⑤御嶽神社



祭神は素戔鳴尊(すさおのみこと)など九神とされている。遠藤村の鎮守社。神仏習合をうけて「御嶽大権現」と言われたときもある。ご神体は新編相模国風土記稿によれば「運慶作長一尺二寸木像」とある。神社の創建年代は明らかではないが、慶長五年(1600)以前に存在したと言われている。

⑥大瀬戸稲荷



その昔、大庭景親が戦勝祈願に度々参詣したと伝えられる。大庭の館から駒寄(小糸川)で馬を洗い、稲荷橋を渡り矢尻まで通ってきたという。昔は広い松林もあり、社殿も大きかったといわれる。戦後まであった石橋の稲荷橋は、江戸時代に窪島家が寄進されたもので現在、小出小学校の門柱になっている。